



平成 29 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
代表者名 代表取締役社長 富士本 淳
(JASDAQ・コード 6425)
問合せ先 経営企画室 広報・IR 課
電話番号 03-5530-3055 (代表)

特別調査委員会による提言の「再発防止策」の実施状況について

当社は、平成 29 年 8 月 30 日付け「特別調査委員会の調査結果及び今後の対応に関するお知らせ」のリリースにて、調査結果についての報告に加え、同委員会による不正行為等の再発防止策の提言をふまえ、具体的な再発防止策について決定次第、開示することをお伝えしておりました。

特別調査委員会による再発防止策の提言は、1.株式会社ユニバーサルエンターテインメント(以下「当社」)の社長を中心とした一元的な体制を構築すること、2.海外グループ会社のガバナンス体制を整備すること、3.情報の共有化の促進の3つの事項について対策を講じることでした。このたび、当社の再発防止策の大枠が固まったことから、その概要と実施状況及び今後の対応について、この3点を踏まえ、ご報告いたします。

1. 当社社長を中心とした一元的な体制を構築すること

➤ 社内組織の見直しと取締役会の強化 (2017 年 6 月 29 日)

・経営管理の中核となる経営企画室、海外事業管理本部、法務対策室の新設と内部監査の強化を実施しました。経営企画室は、組織変更、各種規程整備など海外を含むグループ全体の管理を担います。また、海外グループ会社の統括及び社内コンプライアンス強化へ向け、それぞれ海外事業管理本部と法務対策室も新設しました。さらに、内部監査室の責任者に業務に精通した人材を登用、増員も行いました。

・「経営企画室」「海外事業管理本部」「法務対策室」の各部門長は、全員執行役員を任命、責任を明確化し、経営陣との連携も強化しました。

・社外取締役を1名増やし、取締役会7名中、3名を社外取締役とし、取締役会の監視機能を強化しました。

➤ 社内規程の改正

・取締役会、子会社管理、業務分掌、組織及び職務権限の各規程を改正しました。

2. 海外グループ会社のガバナンス体制を整備すること

➤ 経営体制の整備

・社長交代も含め、Tiger Resort, Leisure and Entertainment, Inc. (以下「TRLEI」)の取締役会メンバーを刷新、現地有力弁護士及び公認会計士をそれぞれ取締役会議長並びに監査委員長に選任しました。また、

TRLEIにも経営企画室を新設、当社取締役をトップとして派遣し、当社との連携を強化しました。

3. 情報の共有化の促進

- 取締役会の映像・音声を含む記録資料を全取締役、経営企画室長及び取締役会事務局がタブレット端末で常時閲覧可能、また、執行レベルでも、各部門長により構成される本部長会にも、参加者全員が情報共有可能な同様のシステム環境を構築しました。
- TRLEI の取締役として、当社執行役員2名と従業員1名の計3名を選任、当社と海外子会社の情報共有を強化しました（2017年6月29日）。

さらに、再発防止策として、今後も以下の対応を実行予定しております。それぞれ、来年前半までの完了を計画しております。

- 海外事業管理本部に業務IT化及び運営・情報管理等の責任を持たせ、国内で運用中の高い電子稟議システムを平成29年12月1日、TRLEIにも導入しました。安全性や透明性が高い同システムの海外事業への導入は、旧来の元会長を中心とした同事業のガバナンスにより遅れておりました。
- 今後は、国内同様、支払システム、署名捺印システム等を、電子稟議システムにリンクさせ、電子記録を残し、稟議決済と資金の流れをトレースし、構造的なモニタリングを可能としていきます。さらに、取締役会等の重要会議の電子記録化も進めていきます。
- また、TRLEIでは、各部門の責任者と役割を明確にするとともに、決裁権限規程を全面的に見直し、支払承認や契約締結は、金額に応じて承認権者を複数名にするなどの措置も講じる予定です。
- さらに、海外事業中心に、子会社、関連会社の整理を進め、管理機能の効率化を図っております。

当社といたしましては、特別調査委員会による調査結果及び再発防止策の提言を真摯に受け止め、今後も、適宜、必要な措置を講じて、更なる内部統制強化に努めていきたい所存です。

以上